

映画「待合室」山田上映会

5月14日(日)

1回目…午前10時半～
2回目…午後1時～
3回目…午後3時半～

町中央公民館大ホール

山田BBS会では、一戸町のIGRいわて銀河鉄道小繋駅の待合室を舞台にした映画「待合室」の山田上映会を開催します。なお、入場料の一部は町内の幼稚園・保育園(所)を対象にした「花いっぱい運動」資金として活用されます。

◆入場料 大人…1,000円(当日1,500円)
小学生～高校生…800円(当日券のみ)

◆入場券販売開始日 4月3日(月)

◆入場券取扱所 佐藤薬局(豊間根)、鈴門商店(山田店、大沢店)、町中央公民館、山田町商工会、一休松尾山田店、フローリストばば、靴のサイトウ、ピザ・テンフォー山田店、川石水産、岩手日報山田センター、丸萬石油、道の駅やまだ

◆問い合わせ 山田BBS会事務局(龍昌寺内 ☎090-4313-4206) へどうぞ。

※山田BBS会では、1月下旬に開催した難病患者支援チャリティー映画「1リットルの涙」山田上映会の益金の一部約14万円を県難病団体連絡協議会に寄付しました。皆様のご協力ありがとうございました。

イラスト



みんなのスペース



はが みき ちゃん
(山田第二保育所・5歳)

わたしのゆめ

大きくなったらケーキ屋さんになって、大好きなショートケーキをたくさん作りたいな。

古里への便り⑪



ふる里山田同郷の会会計監事
東京都日野市
萬嗣雄さん(67歳)
(織笠出身)

故郷の皆さまには健やかに過ごしのことと存じます。私が故郷を離れたのは、昭和三十五年八月でした。もう四十七年も経っているのに最近のような感覚です。

ところで、奇しくも今年一月号の本欄に貫洞様が書いておられた故郷物産の代表の一つ、「山田のカキ」ですが、五、六

年前に東京江東区の深川郵便局前で山田町の物産展があった時のこと。職場の同僚を無理やり連れていき、大沢漁協が出品してありました。付きカキ(いわゆるワイヤーの付いた殻付きカキ)を試食させてもらった時です。最初、同僚は不安を感じ、なかなか試食しようとはしませんでした。が、強く勧めたこともあってか、ついには意を決して食すると、即いわく「初めてこんなおいしいカキを食べた」と、すごく感激した言葉を発したことを思い出

しました。多分この同僚だけでなく、物産展で殻付きカキにありついた方は同様の感想を持ったのではないかと思います。

最近、山田町のホームページのぞきましたら、三月に「カキまつり」のイベントが開催されたとのことですが、今や各地方では地場産情報競争を競って全国に発信しているのが目につきます。数多くの付加価値のついた物産を有するわが故郷も、いいものを全国の人々に食していただけるようぜひ都会でのイベント、メディアなどを含め、さらに発信力を強めていただければと思っています。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

山田よいとこ好きな町(二)

古里山田を遠く離れて、日々ご活躍なさっておられる多くの方々には常々、またふとした時、山田を思い出されて、遠い故郷の空に心馳せておられることでしょう。

そういう私もまた、かつて十数年の間、山田を離れておりまして。まだ若かった十八のころには、椰子の葉茂るそれはそれ

はチツポケなサンゴ礁の、二十人足らずのカナカの人たちが暮らしているおとぎの国のような小島で、島流し同然に一年半も気象観測に従事していました。

日ごとの思いはやはり故郷の山田のこと。夜空に輝く南十字星を仰ぎ眺めながら、山田恋しやの感傷に胸一杯突き上げられて、「椰子の実」の歌、「故郷の岸を離れて」と口ずさみ、日本男子が恥ずかしながら若き目に涙にじませていたものです。

そうした思いから今、遠くにおられる皆さんが山田をしのば

れる糧にともしなればと、山田のことをあれこれ、老いの身で慣れぬ筆を運んでおります。もとより浅学非才の者、間違いなど多々ありましようが、何とぞご笑読されて、ご教示をくだされば、ありがたきことと存じます。

君さばよ 別れ行かん
幼き夢の山より川よ
なげきを包み丘に立てば
過ぎし古里のあゝ霧は深し

一、出船の出船のドラが鳴る
塩釜がよいの船が出る
さらばしばしの別れだが

せめても笑顔でいてくれ
二、別れて別れて行くけれど
恋し古里忘れりよか
必ず歸るよ それまでは
かあさん一人を頼んだぞ

子供のころ寝ていると、明け方前の三時ごろ、ボォー、ボォーと腹に響くような船の汽笛。三陸丸か、新東北丸か? 今にして懐かしい限りである。

ペンネーム・山田北州
(山田・85歳)

の景観も快適になってきました。しかし、不愉快に感じるのが道路脇の空き缶などのごみです。車中でおいしく楽しく飲んだ後の始末を公共の道路脇や土手などに捨てることは慎んでほしいものです。

自分の車は汚したくない、きれいにしたい反面、外はどうでもよいという自己中心的な振る舞いは、ごみ持ち帰り運動や美化運動を実施している船越小学校の児童生徒をはじめ、各校のPTA、地域の皆さんのボランティア精神を逆なでする行為だと思えます。

いきずながあり、心が安らいだ。母は時には、麦を鉄鍋でいった麦茶を出すこともあった。今では縁側は遠い日の情景となつたが、折々に懐かしく思い浮かべる。

菊地サカエ(織笠・72歳)

◇ ◇ ◇

はる近し
ぬくむ陽気の心地良き
山崎泰司(船越・59歳)

誰にも嫌われないようになんて
思わなくなつていい
君は傷つきやすく
すぐ繊細だつてこと
知ってるよ

ただ君には
君のこと大切に思ってる
友達がいること忘れないで
たとえ君のこと
悪く言う人がいても
決して僕は変わらない
ずっとずっと友達で
ずっと君の見方だよ

ペンネーム・風の踊り子
(長崎・21歳)

春先に思い出す生家の縁側

西館隆(船越・?歳)

名残の雪に、春を待ちかねてフキノトウが芽吹いている。春の日差しがやわらかくなると、生家の縁側には、通りがかりの老若、子供たちが腰掛け、おしゃべりを楽しむ憩いの場となった。縁側は心をつなぐ温か

まちあわせ
北銀前の白い杖
菊地孝進(船越・84歳)

もみじの手
つつんで歩く散歩道
山崎栄子(船越・57歳)

春彼岸
川辺に映える猫やなぎ
佐々木兼男(荒川・79歳)